

生徒A： 知事さんは、昔、東京でお仕事をしていたと聞きましたが、なぜ、高知に戻って知事をしようと思ったんですか？

知事： 知事選挙に立候補しないかと、選挙の直前になって多くの方に言っていただいたので、それに応じて帰って来るということに決めました。ただ、もっと根本のことを言わせていただくと、私は県外に出てもずっと高知県のことが大好きだった。いつも高知県のことを考えていたし、高知の友達とはいつも一緒にお酒を飲んだりして仲良くしていた。私は高知県に帰ってくる直前に、総理官邸で仕事をしていたが、その時に、全国は有効求人倍率が1を超えたというので盛り上がっていた。「良かった、良かった。ついに景気は回復したぞ」と、喜んでいた。ところが、ある高知県の方が来られて、「高知県の有効求人倍率は、たかだか0.45しかありませんよ」という話を聞いた時、私は衝撃を受けた。一体この高知県はどうなってしまったのかと。それから、一所懸命、高知県のいろんな事を調べました。

そして、高知県庁東京事務所にいる友達と一緒に、いろんな議論をする場をたくさん持ち、そういう中で、何とか高知県のためになりたいという思いを持っていたので、そこにちょうど、知事選挙のお話をいただき、帰ってくることに決めました。

生徒B： 知事さんは、いつもはどんな仕事をしているんですか。

知事： 私がどういう仕事をしているかというのは、ホームページでいつも公開しているので、是非見てみてください。私の知事室も常にホームページで公開（知事室ライブ中継）しています。

私が日々どういう仕事をしているかというと、昨日は、朝から晩までほとんど会議で、あとは人に会っていろいろ議論をしたり、そしてまた夜もいろんな会に出て、いろんな方々と話をしました。いろんな人と話をしたり、討論をするか、もしくは机に座って県庁のいろんな部局の人と、会議をやったりとか、そういうことの繰り返しです。

今、一番の課題になっているのは、さっきお話した産業振興計画。これで高知県の経済をどうやって元気にしていくかという話を一所懸命議論しているのと、あともうひとつは、大河ドラマの「龍馬伝」が終わった後でも、ブームが残って行くように、ポスト龍馬伝に向けたいろいろな議論をしたりしています。

あと、教育改革について、教育長と一緒に議論させていただいています。そして社会福祉の問題、日本一の健康長寿県構想というのを作っているのも、社会福祉、保健、医療、この充実についてを県庁の各部、各課の職員と、議論するという繰り返しです。

私の日程は高知新聞にも、県庁のホームページにも載っていますし、またそれから、知事室もオープンにしていますので、是非また見てくださいね。わりと県全体の動き

を手っ取り早く知るには面白いかもしれません。

生徒C： 知事さんは、高知県知事になってよかったことはありますか。

知事： 高知県知事、政治家というのは、例えば、私は来年選挙ですけど、2年後の仕事があるのかないのかもわからないような仕事です。そういう意味においては、非常に不安定です。それからまた、知事だから威張っているかということ、今時の知事や政治家ほどに、怒られる仕事はないでしょう。多くの皆さんに怒られるし、例えば、知事宛のメールなんていうのは、ものすごく怒っている人が多いです。「このバカヤロー」「やめちまえ」とかいうようなメールがたくさん来たりするし、毎日いろんな人に怒られていますよ。県庁の中では私が怒っているかも知れないけど、一番世間に接しているのは私だから、世間の人からたくさん怒られている。

でも、良かったなと思うのは、私は、高知県が大好きだし、自分のふるさとのためになりたいと思っている。ふるさとのためになる、なっているんだと、100%信じてきって、かつ100%それに没頭できるというのは幸せだと思いますね。

私がこの仕事を一所懸命やることによって、もしかして周りの人に迷惑をかける結果になっていやしないかとか、その組織のためにはなっているけど、世の中のためになっているんだろうかとか、いろんな事を大人になったら悩むようになってくると思います。進んでいる道が本当に正しいんだろうかということ、悩み始める時出てくると思うんですけど、私には今、その悩みがない。迷いがない。全速力で高知県のためにがんばる。そのために努力をしている。そこは幸せだと思います。

生徒D： どうやったら知事になれますか。

知事： 高知県知事選挙に出馬し、その選挙に勝ち抜くことです。30歳を超えないと被選挙権はありませんので、まず30歳を超えることですね。

知事にどうやればなれるかというより、どういう知事になりたいかによるのではないでしょうか。知事になって何をしたいか。知事になってこれをやりたいっていうものがあり、そして、それが多くの人の共感を得られれば、なれるのだと思います。